

令和9年度

福井大学大学院

福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学

連合教職開発研究科

学生募集要項

(一般選抜)

一般選抜学生募集では、各選抜日に実施する筆記試験及び面接を原則としてオンライン（Zoom を利用）により実施します。

受験者は、ビデオ通話が可能な機器（カメラ及びマイク付きのパソコン等）及び良好で安定的なインターネット環境の整った会場（自宅の部屋等）を確保してください。

令和8年7月

入試日程の概要（一般選抜）

説 明 会 令和8年11月22日（日）

	第1回入学試験	第2回入学試験
出願資格事前 審査申請期限	令和8年12月22日（火）	令和9年1月25日（月）
出願期間	令和9年1月18日（月）～22日（金）	令和9年2月8日（月）～12日（金）
	↓	↓
選抜期日	令和9年2月6日（土）	令和9年2月27日（土）
	↓	↓
合格者発表	令和9年2月17日（水）	令和9年3月10日（水）
	↓	↓
入学手続	令和9年2月26日（金）～3月4日（木）	令和9年3月15日（月）～19日（金）

※教育職員免許取得プログラムの履修を希望する方は、事前に履修可否審査が必要となりますので、できるだけ早く福井大学学務部教務課（E-mail：kyoumu-ehs@ml.u-fukui.ac.jp）に問い合わせて履修申請書と詳細の案内を入手してください。履修申請書の第1回提出期限は令和8年11月24日（火）、第2回提出期限は令和8年12月22日（火）です。

目 次

アドミッション・ポリシー	1
教職開発専攻における特色ある教育	2
教育職員免許取得プログラムについて	2
「感染症に関する注意事項について」	2
1. 募集人員	3
2. コースごとの出願要件	3
3. 出願資格	3
4. 出願期間・方法	5
5. 障がいのある入学志願者等の事前相談	5
6. 出願等に係る事前相談	5
7. 説明会	6
8. 文書によるガイダンス	6
9. 過去の入試問題の請求方法	6
10. 出願手続	7
11. 選抜方法等	10
12. 合格者発表	14
13. 入学手続等	14
14. 長期履修学生制度	15
15. 教育職員免許状取得について	15
16. 奨学金制度	16
17. 安全保障輸出管理について	16
18. 「子ども性暴力防止法」施行への対応について	16
19. 個人情報の利用	16

<注意事項>

- ・ 本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・ 受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、福井大学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・ 電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9：00～17：00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

アドミッション・ポリシー

教職開発専攻

概要・特色

アクティブ・ラーニング，チーム学校，そして学制再編。子どもたち自身が探究し，コミュニケーションし，協働する学習を支える 21 世紀の学校を実現するために，教師の協働の実践力とそれを支える組織マネジメントが不可欠になっています。連合教職開発研究科では学校改革への取り組みへの参画と実践研究を有機的に結ぶ新しいカリキュラムにより，改革を長期的に展望する力・マネジメント能力・協働実践支援力を培います。

1. 求める学生像

1-1 能力・資質等

授業研究・教職専門性開発コース

- ・学校での長期の実習を通して，実践的に学び専門性を培っていかうとする人
- ・授業づくり・幼児児童生徒の成長発達支援について実践に即して研究し，実践力を培おうとする人

ミドルリーダー養成コース

- ・学校での協働研究の運営・推進に取り組んでいる人
- ・授業づくり・授業改革・授業研究を積極的に進めている人
- ・幼児児童生徒の発達支援について実践と研究を進めている人

学校改革マネジメントコース

- ・将来，学校の組織マネジメントの中心的な担い手として取り組もうとする人
- ・学校での組織運営及びその支援に取り組んでいる人
- ・学校改革の組織過程に実践的な関心を持つ人

1-2 望ましい事前の取り組み

授業研究・教職専門性開発コース

- ・協働探究的な学習に自ら取り組みその経験を省察した記録を作成する。
- ・授業改革・学校改革に関わる提言や研究に関心を持ち学ぶ。
- ・ラウンドテーブル等教職大学院の公開実践交流の場に参加し，実践の展開に学ぶ。

ミドルリーダー養成コース

- ・協働探究的な学習や授業改革への挑戦を重ね，そうした取り組みを記録化する。
- ・授業改革・学校改革に関わる提言や研究に関心を持ち学ぶ。
- ・ラウンドテーブル等教職大学院の公開実践交流の場に参加し，実践の展開に学ぶ。

学校改革マネジメントコース

- ・授業改革・学校改革への取り組みを継続的に展開し，そうした取り組みを記録化する。
- ・授業改革・学校改革に関わる提言や研究に関心を持ち学ぶ。
- ・ラウンドテーブル等教職大学院の公開実践交流の場に参加し，実践の展開に学ぶ。

2. 入学者選抜方法の基本方針

一般選抜

専門科目 A「学校改革実践研究の基礎」では，教育改革・学校改革に関わる資料を検討し，小論文にまとめます。これにより，教育改革の展開について理解し判断する力を評価します。専門科目 B の「教育実践の分析」では，授業の記録を吟味，検討し小論文にまとめます。専門科目 B の「教科に関する問題（実

技試験を含む場合がある。)」では、教科の専門性を問う問題等を課します。これらにより、学習の展開を分析し表現する力、教科のカリキュラムをデザインする力を評価します。専門科目A・Bの筆記試験のほかに、出願時に提出された成績証明書と教育実践報告書、及び入学後の実践と研究の進め方についての面接（口述試験を含む。）により実践に即して研究する力を評価し、本研究科の学生となるのにふさわしい意欲・資質・適性等を備えているかを総合的に評価します。なお、成績証明書は、実践に即して研究する基礎力を判定します。一方、筆記試験、面接（口述試験を含む。）、教育実践報告書は、実践に即して研究する推進力を判定するため、成績証明書よりも重みづけした評価項目として扱います。

推薦選抜

出願時に提出する自身のこれまでの取り組みと今後の大学院での学習の抱負に関わる「教育実践報告書」と入学後の実践と研究の進め方についての面接（口述試験を含む。）を行い、本研究科の学生となるのにふさわしい意欲・資質・適性等を備えているかを総合的に評価します。

外国人特別選抜

独立行政法人国際協力機構等より推薦のあった者に、出願時に提出された「教育実践報告書」と入学後の実践と研究の進め方についての面接（口述試験を含む。）を行い、本研究科の学生となるのにふさわしい意欲・資質・適性等を備えているかを総合的に評価します。

「教職開発専攻における特色ある教育」

授業は全て複数の教員によるチームティーチングで実施します。また、学校拠点方式であるため、授業は、各大学の拠点校である各幼小中高等学校・特別支援学校で行われます。

なお、本連合教職大学院は、県域を越えた初めての教職大学院ですが、大学間の連携に関しては、毎月の合同カンファレンス、拠点校への相互参加、ラウンドテーブルでの相互参加を通じて頻繁に交流することになります。

「教育職員免許取得プログラムについて」

本研究科の授業研究・教職専門性開発コースに入学して、新たに小学校、中学校（一部取得できない免許があります。）、高等学校（一部取得できない免許があります。）又は特別支援学校の教育職員免許を取得するプログラムです。同プログラムでは、入学前に免許を持たない者も、最短3年間で教育職員免許取得が可能です。出願期間開始前に事前に教育職員免許取得プログラム履修申請書を教務課に提出していただき、履修可否審査を行います。詳細については、福井大学学務部教務課（E-mail：kyoumu-ehs@ml.u-fukui.ac.jp）へ問い合わせてください。

「感染症に関する注意事項について」※オンライン受験者を除く

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお、上記理由により受験できなかった場合、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は、福井大学ホームページ「受験生の方へ」内でお知らせします。

1. 募集人員（一般選抜）

教職開発専攻 50 名

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 【A】授業研究・教職専門性開発コース（第1回，第2回合わせて） | 概ね 15 名 |
| 【B】ミドルリーダー養成コース（第1回，第2回合わせて） | 概ね 15 名 |
| 【C】学校改革マネジメントコース（第1回，第2回合わせて） | 概ね 20 名 |

※第3回以降の入学試験を実施する場合は、福井大学ホームページ「受験生の方へ」内で公表します。

※推薦選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合には、一般選抜からその不足分を補充します。

2. コースごとの出願要件

【A】授業研究・教職専門性開発コース

教育職員の普通免許状を有する学部卒業者（令和9年3月31日までに教育職員の普通免許状を取得見込みの者を含む）又は教育職員の普通免許状を有しない学部卒業者であって、学校教員就職を希望し、教育職員免許取得プログラムの履修許可を得た者

【B】ミドルリーダー養成コース

学校での協働研究の運営・推進に取り組もうとする現職教員等で、国公立学校等の所属長からの承認を得た者

【C】学校改革マネジメントコース

将来、学校の組織マネジメントの中心的な担い手として取り組もうとする現職教員等で、国公立学校等の所属長からの承認を得た者

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、コースごとの出願要件を満たす者

- （1）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者又は令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和9年3月31日までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて

課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9年3月31日までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)又は専攻科(学校教育法第125条の2第1項に規定する特定専門課程をいう。)における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (9) 令和9年3月末日において、次に掲げる事項のいずれかを満たし、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - ① 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者
 - ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了した者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (11) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までに22歳に達している者

※出願資格の(9)～(11)によって出願しようとする者は、出願期間前に資格審査が必要となるので、できるだけ早く福井大学学務部入試課(電話 0776-27-9927 又は g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp)へ申し出てください。申請書様式等を渡します。なお、資格審査に必要な書類等は、概ね次のとおりです。

- ①申請書, ②教育歴証明書, ③研究歴・研究従事内容証明書(①～③は本研究科所定様式),
④卒業証明書, ⑤成績証明書

○出願資格事前審査申請期限

- ・第1回入学試験 令和8年12月22日(火)16時まで
- ・第2回入学試験 令和9年1月25日(月)16時まで

※上記は資格審査に必要な書類等の提出期限です。書類等の準備に要する期間を考慮の上、できるだけ早く福井大学学務部入試課へ申し出てください。

○申請方法

郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、封筒の表面に「連合教職開発研究科出願資格事前審査書類在中」と朱書の上、各申請期限までに必ず到着するよう十分配慮し送付してください。

持参の場合は、各申請期限までに福井大学学務部入試課へ提出してください。

○審査結果通知

出願期間開始日までに審査結果を通知します。出願資格を認定された者は、出願手続を行ってください。

4. 出願期間・方法

・第1回入学試験 令和9年1月18日（月）～22日（金）

・第2回入学試験 令和9年2月8日（月）～12日（金）

- (1) 郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、封筒の表面に「連合教職開発研究科入学願書在中」と朱書の上、各出願期間最終日の16時までに必ず到着するよう十分配慮し送付してください。ただし、各出願期間最終日の2日以前の消印のある簡易書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。
- (2) 持参の場合は、各出願期間（土日、祝日を除く。）の9時から17時まで（最終日は16時まで）に福井大学学務部入試課へ提出してください。ただし、検定料の持参はできません。
- (3) 出願期間終了後に受験票を送付します。各試験実施日の2日前（第1回入学試験は2月4日（木）、第2回入学試験は2月25日（木））までに受験票が到着しないときには、福井大学学務部入試課に問い合わせてください。

5. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本研究科入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり、福井大学学務部入試課（電話 0776-27-9927）に事前相談の申請をしてください。

また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、直ちに電話等（電話 0776-27-9927）により相談してください。

① 事前相談の締切日

各出願期間開始14日前まで

② 事前相談の申請方法等

福井大学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

6. 出願等に係る事前相談

連合教職開発研究科への出願にあたって、事前に相談がある場合は、福井大学学務部入試課（g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp）へ問い合わせてください。下記の窓口教員等から回答します。

窓口教員
福井大学大学院教授 観 寿子 (メールアドレス：kan@u-fukui.ac.jp)

7. 説明会（オンラインでの実施）

令和8年11月22日（日）13:00～

出願を考えている方はぜひ参加してください。

説明会内容（予定）

13:00～14:30 連合教職開発研究科長挨拶

連合教職開発研究科説明

入試説明

質疑応答

「説明会への参加を希望する場合」

以下の URL 又は右側の二次元コードから申し込んでください。

<https://www.ocans.jp/u-fukui?fid=aBNOu1M3>

申込受付期間 令和8年10月1日（木）～11月12日（木）

- ・説明会の参加申込者には、事前に、過去1年分の筆記試験問題（専門科目A「学校改革実践研究の基礎」及び専門科目B「教育実践の分析」）を無料で送付します。



8. 文書によるガイダンス

出願した方には、ガイダンス資料を、入学志願票に記入したメールアドレスに送付します。試験日まで必ず確認してください。

9. 過去の入試問題の請求方法

過去の入試問題を請求する場合は、各個人で、以下に連絡し、取り寄せてください。（説明会の参加申込者には、過去1年分の筆記試験問題（専門科目A「学校改革実践研究の基礎」及び専門科目B「教育実践の分析」）を無料で送付します。）

- ・来学による窓口での申し込み（福井大学学生生活協同組合）

入試問題を閲覧の上、その場で入試問題のコピー（有料）を入手できます。

- ・電話による申し込み 生協窓口直通 0776-21-2956

- ・電子メールによる申し込み メールアドレス：office@fu-coop.or.jp

電話、電子メールの場合は、住所、氏名、連絡先電話番号、入試問題を希望する研究科名及び受験科目名を伝えてください。入試問題のコピーは有料で、別途郵送料がかかります。

10. 出願手続

(1) 出願書類の提出先

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

(2) 出願書類等（*印は本研究科所定の様式）

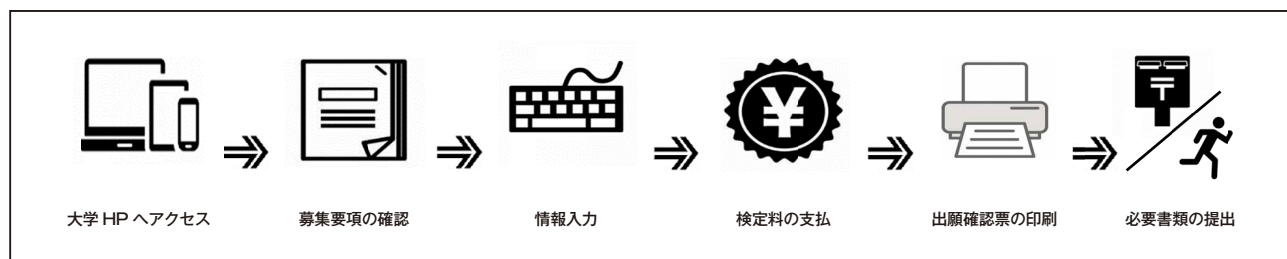
本研究科所定の様式は、福井大学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードしてください。

書 類 等			摘 要
*	1	入 学 志 願 票	本研究科所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、志願者本人が自書してください。 メールアドレスは、オンライン受験（Zoom を利用）の際の留意事項等、重要なメールの送付に使用します。 携帯電話番号は、オンライン受験中の緊急連絡に使用します。 出願後に変更となった場合は、速やかに福井大学学務部入試課（電話0776-27-9927）まで連絡してください。
*	2	写 真 票 ・ 受 験 票	本研究科所定の様式をA4サイズで印刷の上、縦4cm×横3cmの写真（カラー、正面向き、上半身、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付してください。アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。
	3	卒 業 証 明 書	出身大学（学部）の卒業証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。 卒業見込みの者は卒業見込証明書を提出してください。なお、福井大学卒業生及び福井大学卒業見込者は提出不要です。 出願資格（2）に該当する者は、短期大学又は高等専門学校の専攻科の修了証明書若しくは修了見込証明書を提出してください。
	4	成 績 証 明 書 * 授業研究・教職専門性開発コース志願者のみ	出身大学（学部）の成績証明書で、大学長又は学部長等発行のもの。なお、福井大学卒業生及び福井大学卒業見込者も提出が必要です。 出願資格（2）に該当する者は、短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科の成績証明書の両方を提出してください。
*	5	教 育 実 践 報 告 書 「教育実践（研究）の現状と課題」	連合教職大学院では、学校が直面する課題に教師が協働して取り組む長期協働実践研究を中心に据えています。この長期協働実践研究にかかわって次の内容を含むものを作成してください。 本研究科所定の様式をA4サイズで印刷の上、1枚～2枚を目安としてください。パソコン等を使用して作成しても構いません。 【A】授業研究・教職専門性開発コース （教育職員免許取得プログラム履修許可者は、①は必須で、②と③の中から1つを選択してください。教育職員免許取得プログラム履修許可者以外の方は、①と②を両方選択してください。） ①今後、学校での長期インターンシップにおいて取り組んでいきたいこと ②大学等でこれまで取り組んできた教育実践および教育実践研究について ③希望校種の教科等に関する専門性を高めるために取り組んでいきたいこと 【B】ミドルリーダー養成コース（①～③必須） ①これまで取り組んできた教育実践（研究）の歩み ②学校（研究所ほか）において協働で取り組みつつある実践・研究のこれまでの歩みと現状 ③学校（研究所ほか）での協働研究の今後の課題

*	5	教育実践報告書 「教育実践（研究）の 現状と課題」		【C】 学校改革マネジメントコース（①～③必須） ①これまで自身が取り組んできた教育実践・学校組織運営の歩み ②現在学校が直面している課題・取り組んでいる改革の現状 ③今後取り組むべき学校改革への展望とそのための研究の課題 【A】、【B】、【C】いずれのコースにおいても、既に行ってきた研究・調査・教育実践等に関する論文・報告・要旨等の資料がある場合には、参考資料として添付することができます。 なお、教育実践報告書「教育実践（研究）の現状と課題」は、学力検査における面接の資料として用います。
	6	誓 約 書		本研究科所定の様式をA4サイズで印刷の上、志願者本人が自書してください。 オンライン受験の際の遵守事項を記載しています。
	7	出 願 確 認 票 (検定料振込の証明)		インターネットサイトにより手続を行います。 9ページ「(3) 検定料振込の流れ」を確認してください。
	8	返 信 用 封 筒 (受験票送付用)		市販の長形3号封筒(120mm×235mm)に志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、410円分の切手(定形郵便・50g以内・速達)を貼付してください。
*	9	あ て 名 票 入 学 願 書 受 付 票		本研究科所定の様式をA4サイズで印刷の上、志願者本人が自書してください。 試験問題等の送付、福井大学からの通知等の送付に使用するので、出願後に受け取り先の住所等が変更となった場合は、速やかに福井大学学務部入試課(電話 0776-27-9927)まで連絡してください。
	10	該 当 者	学 位 授 与 (取 得 見 込) 証 明 書	出願資格(2)に該当する者は、大学改革支援・学位授与機構が作成したものを提出してください。学位を授与される見込みの者は、学士の学位授与を申請予定である旨の短期大学長又は高等専門学校長の証明書を提出してください。 出願資格(6)に該当する者は、学士相当の学位の取得(見込)を証明する書類(学位取得(見込)証明書等)を提出してください。
	11		教 育 職 員 免 許 状	教育職員の普通免許状を有する者は、免許状(表裏とも)のコピー(A4サイズ)又は直近の更新講習修了確認証明書のコピーを提出してください。 取得見込みの者は、取得見込証明書を提出してください。 授業研究・教職専門性開発コースを志望する者の内、教育職員免許取得プログラムの履修許可者については、所有する免許状(取得見込みを含む。)がある場合のみ提出してください。
*	12		承 諾 書	在職身分のまま入学を希望する者は、承諾書を提出してください。 本研究科所定の様式をA4サイズで印刷の上、所属長又はこれに準ずる者が作成してください。
	13		教育職員免許取得プログラム履修可否に関する通知書	授業研究・教職専門性開発コースを志望する者の内、教育職員免許取得プログラムの履修許可者については、教育職員免許取得プログラム履修可否に関する通知書のコピーを提出してください。
	14		福井県公立学校 教員採用選考試験 合 格 通 知 書	授業研究・教職専門性開発コース出願の者で、令和9年度福井県公立学校教員採用選考試験の第1次選考試験の合格者は、合格通知書のコピーを提出してください。なお、令和9年度福井県公立学校教員採用選考試験の第2次選考試験の合格者は、第2次選考試験の合格通知書のコピーのみ提出してください。

15	該 当 者	在 留 カ ー ド の コ ピ ー	本邦在留の外国人は、在留カードのコピー（両面）を提出してください。 海外居住者は、在留カードのコピーの代わりにパスポートのコピー（姓名、 国籍及び生年月日が記載されたページ）を提出してください。
16		「教科に関わる問題」 に関する提出物	楽譜、ポートフォリオ等（10～14ページ「11. 選抜方法等」参照）

（３）検定料振込の流れ



インターネットにより行います。振込完了には下記①～④のすべての手続が必要です。

① インターネットサイトによる情報の入力

インターネットサイトへは、福井大学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）からアクセスできます。

「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「インターネット出願」→「インターネット出願サイト URL」→「出願手続き・検定料のお支払い」→「その他の入試 ※検定料のお支払いのみ」

○情報入力可能期間 * 出願期間とは異なります。

- ・ 第1回入学試験 令和9年1月8日（金）9時00分～22日（金）16時00分
- ・ 第2回入学試験 令和9年2月1日（月）9時00分～12日（金）16時00分

② 検定料の支払

検定料 30,000 円

検定料の詳細は、下記の「検定料の支払方法」を参照してください。

③ 出願確認票の印刷

④ 出願確認票等の提出

（注）インターネットサイトでの情報の入力及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了とはなりません。各出願期間内に、出願書類を提出（最終日 16 時までには必着）することで完了となります。

「検定料の支払方法」

① 検定料 30,000 円

検定料の他に、支払手数料（自己負担）が必要です。

② 支払期間 * 出願期間とは異なります。

- ・ 第1回入学試験 令和9年1月8日（金）～22日（金）16時00分
- ・ 第2回入学試験 令和9年2月1日（月）～12日（金）16時00分

* 出願書類等は各出願期間最終日 16 時までには提出（必着）であることに特に注意して、早めに支払ってください。

③ 支払方法

コンビニエンスストア，銀行 ATM（Pay-easy での支払），クレジットカード（VISA，MasterCard，JCB，AMERICAN EXPRESS，Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。

④ 支払に際しての留意事項

ア. 銀行窓口での支払いはできません。

イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行 ATM での支払いはできません。

ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

エ. 支払手数料は、志願者本人の負担となります。

⑤ 検定料の返還に關しての留意事項

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。次の該当者は、速やかに福井大学学務部入試課に問い合わせてください。

ア. 検定料を支払ったが福井大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

イ. 検定料を誤って二重に支払った場合

なお、返還に係る振込手数料等は志願者の負担となります。（福井大学に振り込まれた金額から手数料等を差し引いた金額を返還します。）

（４）出願に当たっての留意事項

① 出願書類は黒のインク又はボールペンを使用し（消せるボールペンは使用不可）、文字はかい書で正確に記入してください。

② 受理した出願書類等は、どのような理由があっても返還しません。

③ 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。

④ 出願書類等の偽造、虚偽記載、剽窃、その他選抜の公平性を損なう不正な行為が認められた場合には、出願を取り消します。また、出願受理後または入学後に書類等に不正があることが明らかになった場合には、出願受理または入学許可を取り消します。なお、この場合、検定料及び入学料は返還しません。

⑤ 外国語で書かれた書類については、日本語の訳文を添付してください。

※外国人志願予定者は、出願以前に、安全保障輸出管理の「事前確認シート」等の作成を指導予定教員へ依頼してください。

11. 選抜方法等

（１）選抜方法

学力検査及び提出された書類を総合して選抜します。

学力検査は原則オンライン（Zoom を利用）により実施します（一部の実技試験を除く）。志願者は、ビデオ通話が可能な機器（カメラ及びマイク付きのパソコン等）及び良好で安定的なインターネット環境の整った会場（自宅の部屋等）を確保してください。

必ず事前に動作確認を行い、学力検査に臨んでください。Zoom の使用方法等について、福井大学でのサポートは行いません。なお、Zoom の使用にかかる通信料は自己負担とします。

実施方法等の詳細については、入学志願票に記入したメールアドレスに通知します。

(2) 受験上の注意

- ① 試験中は受験票を必ず携帯し、係員の指示に従ってください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻から 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 本研究科が課す選抜試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- ④ 試験当日は、身分証明書（学生証・マイナンバーカード・運転免許証等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。）の携帯を必須とします。不正行為が疑われる場合や受験票を忘れた場合など、本人確認のために提示を求めることがあります。
- ⑤ 計時機能以外の機能をもった時計の使用は認めません。
- ⑥ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験開始前に必ずアラームの設定を解除しておいてください。試験時間中に、監督者の指示に従わずに身に付けていたり手にもっていたりすると、不正行為となることがあります。

また、イヤホンは耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります。（試験時間中、病気・負傷や障がい等により補聴器等を使用したい場合は、5 ページの「5. 障がいのある入学志願者等の事前相談」を確認し、事前相談の申請をしてください。）

- ⑦ 監督者の指示に従わない場合や、不適切な行為のあった者には試験の中止を命じることがあります。
- ⑧ 検証のため、オンラインで実施する試験を録画します。
- ⑨ 不正行為については、状況により追加的な確認や、警察に被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

(3) 選定期日等

① 日 時

- ・第1回入学試験 令和9年2月 6 日（土）9時00分 開始
- ・第2回入学試験 令和9年2月 27 日（土）9時00分 開始

② 受付時間

Zoom の接続（受付を兼ねる。）を各試験日当日の8時25分から8時40分の間に行い、福井大学からの連絡・指示があるまでは接続したままの状態にしておいてください。

③ 学力検査科目・時間

1) 授業研究・教職専門性開発コース（第1回・第2回入学試験）

筆記試験（実技試験を課す場合がある）		面接 (口述試験を含む。)
専門科目 A	専門科目 B	
学校改革実践研究の基礎	「教育実践の分析」又は 「教科に関わる問題」	
9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～

注1 専門科目 B は、「教育実践の分析」又は 12 ページの「教科に関わる問題」のいずれかを選択してください。ただし、教育職員免許取得プログラムの履修許可者は、13 ページの「教育職員免許取得プログラム履修許可者受験問題一覧」から該当する希望免許に記載の問題を必ず受けてください。

注2 専門科目 B で、「教科に関わる問題」の「音楽」、「美術②絵画」又は「美術③彫刻」（12 ページ、13 ページ参照）を選択した場合は、福井大学に来学して受験してください。試験日、受付時間及び試験時間は、オンライン受験者と同じです。集合場所等の詳細は、受験票送付の際にお知らせします。

注3 英語表記による筆記試験を希望する場合は、第2回入学試験に出願してください。専門科目Bは「教育実践の分析」に限ります（「教科に関わる問題」は選択できません）。また、福井大学に来学して受験してください。試験日、受付時間及び試験時間は、オンライン受験者と同じです。集合場所等の詳細は、受験票送付の際にお知らせします。

注4 受験者ごとの面接開始時刻は、試験当日に発表します。

「教科に関わる問題」

教科名	題 目 名
国語	選択不可（「教育実践の分析」に代える。）
社会	社会科教育学に関する問題
英語	英語科教育学，英語学，英語文学に関する問題から2題
数学	選択不可（「教育実践の分析」に代える。）
理科	理科教育学を含む物理・化学・生物・地学に関する問題から1題
技術	技術科教育学および電気又は情報に関する問題
家庭	家庭科教育学および家庭の専門領域に関する問題
音楽 ※1	音楽の専門領域に関する，<1> 実技試験（プレゼンテーションを含む。）又は<2> プレゼンテーション
美術 ※2	①美術科教育学，②絵画（実技），③彫刻（実技）の3つの選択肢の中から1題
保健体育	保健体育科教育学および保健体育の専門領域に関する問題

※1. 「音楽」については、以下の<1>と<2>の課題のうちいずれか1つを選択してください。福井大学に来学して受験してください。

<1> 実技試験（プレゼンテーションを含む。）

器楽 又は 声楽 又は 合唱指揮

次の①～③のうちいずれか1つを選択してください。

①器楽 又は ②声楽

任意の楽曲について演奏と解説による15分以内のプレゼンテーションを行います。演奏は10分以内とします。

- ・演奏は複数の楽曲・楽章を組み合わせても構いません。
- ・演奏楽器等は、ピアノ、声楽、一般にオーケストラや吹奏楽で使用される楽器から選択してください。電気・電子楽器は使用できません。一般にオーケストラや吹奏楽で使用されない楽器については、事前に相談すること。
- ・ピアノ以外の楽器については受験者本人が試験当日に自分で持参・運搬してください。また短時間で組み立て可能なものとします。
- ・伴奏者が必要な場合は各自同伴してください。
- ・試験の進行の都合により、演奏を途中で止めることがあります。
- ・演奏曲の楽譜を1部、入学志願票とともに提出してください。

③合唱指揮

合唱指揮について、15分以内のプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションには、これまでの代表的な合唱指揮の演奏、又は録画（5分程度）の再生と、任意の楽曲のピアノ演奏（5分程度）を含めること。

〈2〉プレゼンテーション

作曲 又は 音楽学 又は 音楽科教育

次の①～③のうちいずれか1つを選択し、それぞれの分野における自身の作品又は研究又は実践について、15分以内のプレゼンテーションをしてもらいます。プレゼンテーションにパソコン等を使用する場合は、HDMI 接続できるものを持参してください。なお、インターネットには接続できません。

①作曲

これまでに作曲した自作品について、15分以内でプレゼンテーションを行います。5分程度の演奏を含めても構いません。その場合、自作品の楽譜を1部、入学志願票とともに提出してください。また、必要に応じて作品内容についての配付資料を作成し、配付することもできます。その場合は、楽譜とは別に配付資料を、試験当日に5部持参してください。

②音楽学

自身の研究内容について、15分以内でプレゼンテーションを行います。内容についての配付資料を作成し、試験当日に5部持参してください。

③音楽科教育

これまでの教育実践（又は実習）をふまえて自身が研究したい内容について、15分以内でプレゼンテーションを行います。

※2. 「美術」の試験の内容は、次のとおりです。

〈1〉筆記・実技試験

次の①～③のうちいずれか1つを選択してください。②又は③を選択した場合は、福井大学に来学して受験してください。

①美術科教育学：筆記試験

②絵 画：実技試験

素描。素描材の木炭又は鉛筆、消具を持参してください。

③彫 刻：実技試験

素描。素描材の木炭又は鉛筆、消具を持参してください。

〈2〉ポートフォリオの提出

これまでの研究の経緯や成果が分かる内容を記載したポートフォリオを入学志願票とともに提出してください。

「教育職員免許取得プログラム履修許可者受験問題一覧」

希望免許名	題 目 名
小学校	教育実践の分析
国語	教育実践の分析
社会	社会科教育学に関する問題
数学	数学（代数学・幾何学・解析学・応用数学）に関する問題
理科	理科教育学を含む物理・化学・生物・地学に関する問題から1題
音楽 ※1	音楽の専門領域に関する、<1> 実技試験（プレゼンテーションを含む。） 又は <2> プレゼンテーション
美術 ※2	①美術科教育学、②絵画（実技）、③彫刻（実技）の3つの選択肢の中から1題
英語	英語科教育学、英語学、英語文学に関する問題から2題
特別支援学校	教育実践の分析

2) ミドルリーダー養成コース、学校改革マネジメントコース（第1回・第2回入学試験）

筆記試験		面接 (口述試験を含む。)
専門科目 A	専門科目 B	
学校改革実践研究の基礎	「教育実践の分析」	
9:00～10:30	11:00～12:30	13:30～

注1 英語表記による筆記試験を希望する場合は、第2回入学試験に出願してください。また、福井大学に来学して受験してください。試験日、受付時間及び試験時間は、オンライン受験者と同じです。集合場所等の詳細は、受験票送付の際にお知らせします。

注2 受験者ごとの面接開始時刻は、試験当日に発表します。

12. 合格者発表

・第1回入学試験 令和9年2月17日（水）10時

・第2回入学試験 令和9年3月10日（水）10時

福井大学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内に合格者受験番号を発表し、合格者に通知します。

なお、電話やメール等による照会には一切応じません。

13. 入学手続等

合格者には合格通知と同時に入学手続の詳細を通知するので、その内容をよく確認して手続を行ってください。

なお、各入学手続期間内に所定の入学手続を行わなかった者は、福井大学への入学を辞退したものと取り扱います。

（1）入学手続期間

・第1回入学試験 令和9年2月26日（金）～3月4日（木）16時まで

・第2回入学試験 令和9年3月15日（月）～19日（金）16時まで

入学手続は、郵送又は持参によるものとします。

郵送の場合は簡易書留速達郵便とし、**各入学手続期間最終日の16時までに必ず到着**するよう十分配慮し、福井大学学務部入試課あてに送付してください。各入学手続期間後に到着したものは受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください。

持参の場合は、各入学手続期間（土日、祝日を除く。）の9時から17時まで（最終日は16時まで）に福井大学学務部入試課へ提出してください。

やむを得ない事情により期間内に入学手続ができない場合は、必ず事前に福井大学学務部入試課（電話 0776-27-9927）に電話で連絡してください。その後の入学手続は福井大学の指示に従ってください。

（2）入学手続時に要する経費

① 入学料 282,000 円（予定額）

② 授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

授業料については、入学手続時に入学料と併せて前期分又は前・後期分を一括して納入することもできます。入学料・授業料の納入方法は、合格者に「入学手続要項」で通知します。入学時及び

在学中に入学科・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

③ 傷害保険及び賠償責任保険

教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

福井大学では、学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）及び学研災付帯賠償責任保険の取り扱いがありますが、その他大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入しても構いません。

（３）入学科免除・徴収猶予と授業料免除・徴収猶予

経済的理由等により、入学科・授業料の納入が困難な者には、入学科免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予制度があります。希望者は、合格者に通知する「入学手続要項」の入学科免除・徴収猶予、授業料免除・徴収猶予に関する欄を熟読して、所定の期間に申請をしてください。

なお、上記の経済的理由によるものの他に、現職教員、企業等に勤務している社会人にあつては、大学院入学時の成績が優秀な者に対して、入学後１年間の授業料を半額免除する制度があります。希望者は、所定の期間に申請をしてください。

制度の詳細、また、奨学金等、その他の支援制度については、「入学手続要項」や大学ホームページにてご確認ください。

14. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて柔軟に計画的に教育課程を履修することができ、長期履修は入学前にあらかじめ申請を行っていただく必要があります。合格通知書とともに長期履修願の様式を送付しますので、希望者はご提出ください。授業料については、２年分を在学予定年数で分割して納入します。

15. 教育職員免許状取得について

本研究科を修了することで、下表のとおり取得済みの１種免許状を専修免許状にすることができます。本研究科の教育職員免許取得プログラムにおいて取得した１種免許状においても専修免許状にすることができます。

学校改革マネジメントコースにおいては、カリキュラム上、特別支援学校教諭１種免許状を有している場合でも、専修免許状にはなりませんのでご留意願います。

（取得可能な免許一覧）

コース	免許状の種類	免許教科
○授業研究・教職 専門性開発コース ○ミドルリーダー 養成コース	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、 美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語
	高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、 工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、英語
	特別支援学校教諭専修免許状	知的障害者に関する教育の領域、 肢体不自由者に関する教育の領域、 病弱者に関する教育の領域
○学校改革 マネジメントコース	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語、社会、数学、理科、音楽、 美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語
	高等学校教諭専修免許状	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、 工芸、書道、保健体育、保健、家庭、工業、英語

16. 奨学金制度

本研究科に在学する学生の経済支援を目的として奨学金を給付する場合があります。詳細は窓口教員までお尋ねください。

17. 安全保障輸出管理について

福井大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「福井大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、出願の時点から厳格な審査を実施しています。

審査の結果によっては、合格しても入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない場合、研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「福井大学における安全保障輸出管理体制及び手続き」

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_scholar/safety/security_export/

18. 「こども性暴力防止法」施行への対応について

令和6年6月に「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」（以下「こども性暴力防止法」（※）という。）が成立しました。

この法律の施行日（令和8年12月25日を予定）以降、教員免許状取得のための学校現場でのインターンシップ等の前に、こども性暴力防止法に基づく特定性犯罪前科の事実確認が行われる可能性があり、この手続で当該前科が確認された学生は、学校現場でのインターンシップ等を行うことができないため、教員免許状の取得・上進ができなくなります。

なお、本研究科においては、学校現場でのインターンシップ等の単位が修了に必須となっており、修了要件を満たすことができず、修了できません。

上記の内容を十分にご理解いただいたうえで、出願（入学）をご検討ください。

※「こども性暴力防止法」の詳細については、こども家庭庁のホームページもご確認ください。

<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

19. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備を含む）、④入試の改善や志願動向等の調査、⑤入学後の履修指導や教務関係事務に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合の他は、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1）捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由がある時に、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2）提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を、契約により課すことになります。）
- 3）提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害する恐れがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合

（問い合わせ先）福井大学学務部入試課

福井大学位置図



■文京キャンパスへの経路

- バ ス JR 福井駅ー(約10分)ー福井大学下車
[JR 福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー福大前西福井駅下車
[JR 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー JR 福井駅ー(約10分)ー福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・IC から国道416号線で西へ約7km
福井 IC から国道158号線で西へ約8km

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- 電車で 大阪・京都ー湖西線經由ー福井
(特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
- 自動車で 大阪・京都ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都ー<名神・北陸>ー福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- 電車で 名古屋・静岡ー米原經由ー福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
- 自動車で 名古屋ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バスで 名古屋ー<名神・北陸>ー福井(約2時間50分)

東京方面から

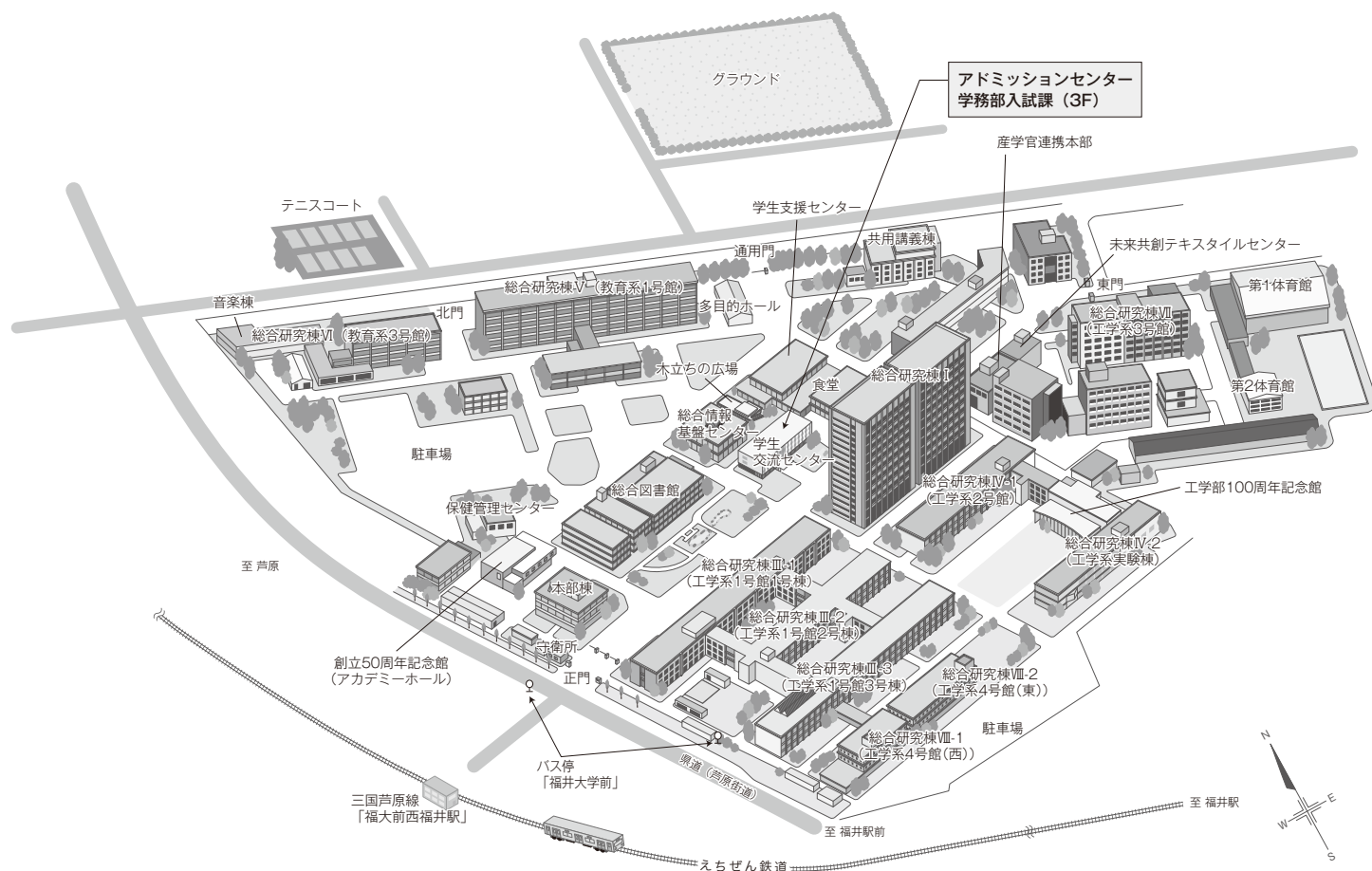
- 飛行機で 東京羽田ー小松空港(1時間)ー福井(連絡バス1時間)
- 電車で 東京ー福井(新幹線約2時間50分)(直通)
東京ー米原經由ー福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車で 東京ー<東名・名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)

金沢・新潟方面から

- 電車で 金沢・新潟ー福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車で 金沢ー<北陸>ー丸岡ー福井北JCT・IC(約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京 3-9-1

TEL 0776-27-9927

MAIL g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

〈注意事項〉

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、福井大学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。 [福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。